

千日尼御前御返事

御書新版 1737 11行目、13行目
御書全集 1310 15行目、17行目

（眞実報恩經の事）

この經文は一切經に勝れたり。地
走る者の王たり、師子王のごとし。
空飛ぶ者の王たり、鷲のごとし。
南無阿弥陀仏經等は、きじのごとし、
兎のごとし。鷲につかまれては涙を
ながし、師子に責められては腹わた
を断つ。

語句

南無阿弥陀仏經

阿弥陀經をはじめとする浄土經典のこと。

通解

この法華經の經文は、一切
經の中で最も勝れている。地
を走る者の王である師子王
のようである。空を飛ぶ者の
王である鷲のようである。
南無阿弥陀仏の經などは、
雉のようであり、兎のようで
ある。鷲につかまれては涙を
ながし、師子に責められては腸
を断つのである。